

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和8年度）2026

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	2	25	水	10:30	12:00	藤金市民の森	9名
活動名称	藤小、藤金の森説明会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

藤小への自然学習支援を今年度3回実施してきました。藤小では今までの子ども達の体験を踏まえ3月に森に関する彼らによる研究・発表会を実施する予定です。その事前準備として子ども達から森に対する諸々の質問を受ける場を設定してもらいたいとの要請があり、第1回を2月10日に実施しました。

その後、藤小3年生担任から、もう1日市民の森で質問に答えて欲しいとの要望があり、2月25日に第2回森の説明会を実施することになりました。

2、活動内容ほか

前回と同じで、数人の子どもたちのグループに、説明員と一緒に森を歩きながら、そのグループが興味を持っていることがらについて、質問を受けたり、関連する項目へのアドバイス情報を伝えました。

今回も前回同様、次の4項目をテーマに質問を受けました。

- ① 里山活動で実際にやっている内容について
- ② 竹について
- ③ 大谷川や魚について
- ④ 草木や昆虫等について

3、評価：

当日は朝から雨天で実施の可否を心配しましたが、担任は、藤金市民の森は、地面が落ち葉の積もった腐葉土であり、水はけが良く、雨天でも行動できるとのアドバイス効果もあり、雨天決行を決断してくれました。スタッフも、「鶴ヶ島の自然を守る会」から2名、里山クラブから8名が雨の中参加してくれて、子どもたちと向き合ってもらいました。子どもたちは、雨もお構いなく、傘を置いて駆けずりまわっていました。担任は、傘をさすよう指導していましたが、子どもたちの元気の方が上回っているようでした。雨天の野外授業は、条件が悪いと思っていましたが、子どもたちにとっても雨の森は、新鮮に感じられたようで、明るく楽しく走りまわっていました。森の説明ができるようネタを考えていきましたが、下手な説明より、自然の森を身体で感じてもらった方が、よほど森を理解できたと感じました。

4、課題

子どもの授業とは関係ありませんが、水が干上がった市民の森に接する大谷川で、カワナとタイワンシジミが見つかりました。2010年にこの大谷川でタイワンシジミが見つかり、2011年には、川を埋め尽くすようになるまで増殖しました。タイワンシジミは、卵胎生ということもあり、繁殖力がものすごく強いです。2012年には、なんと、そのタイワンシジミが、消滅しました。貝類を大好物とする鯉が食べつくしたと安心していました。タイワンシジミは、河川の汚染度の指標になりますし、汚染の原因になることもあります。今年見つかったタイワンシジミが、これから増殖するかどうか、しっかり見守る必要があります。

<里山参加会員>

(島崎)内藤、小沼、杉山、金、柳川、小澤邦、牛島、鈴木、(撮影、吉井)

<活動写真>



2010年の台湾シジミ